

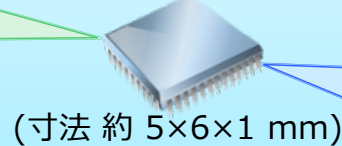
【方式開発方針】

- ACASチップは、現行2K放送（B-CAS方式）と4K8K放送のCAS機能の両方に対応
- 4K8K CAS方式は、ダウンロード（アップデート）機能を追加することでセキュリティを強化
- 現行カードによる不正改ざん問題を背景として、カード形態からICチップ形態とする

【4K・8K放送のCAS機能】

- ・無料放送のコンテンツ保護（RMP）
- ・有料放送の視聴制御（CAS）

ACASチップ



【現行2K放送のCAS機能】

- ・無料放送のコンテンツ保護（RMP）
- ・有料放送の視聴制御（CAS）

【ACASの基本設計】

ACASの開発は2015年4月に始まりました。放送開始となる2018年12月までの短期間の内に、放送事業者は放送局設備の更新を、電機メーカーは対応受信機を新たに設計製造する必要があります。従ってACAS方式では、B-CAS方式を基本に発展・開発することとしました。B-CAS方式（運用開始から18年）で培われた技術的知見を生かしたことで、限られた期間内でより完成度の高い（故障発生が少ない）CAS方式を開発することができました。またB-CASと同様にRMPとCASの機能は一体として設計されています。

